

第4章 ふくいの経済・財政編

平成25年度の福井県の

経済成長率は、「+1.0%」

県内総生産は、「31,271億円」で、前年度より295億円増加

(ふくいの経済)



福井県の平成26年度の決算額は、

歳入は「4,621億円」で、前年度より 2.8%減少

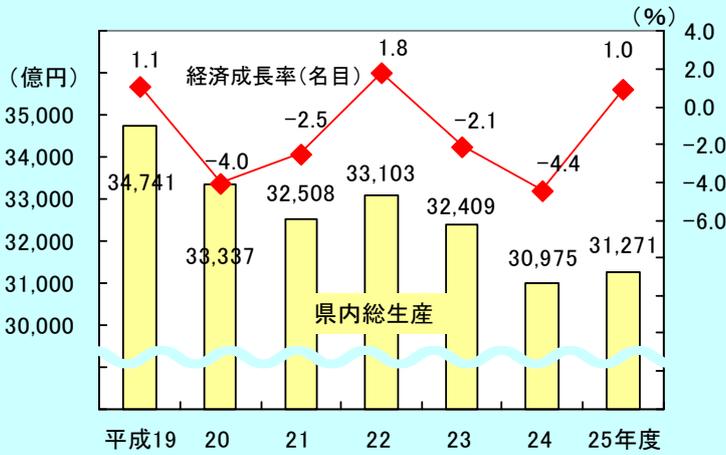
歳出は「4,549億円」で、前年度より 3.1%減少

平成26年度の県税収入は、「950億円」で、前年度より 3.5%増加

(ふくいの財政)

◎平成 25 年度の県内総生産と経済成長率

福井県の県内総生産、経済成長率（名目）の推移



出典：平成 25 年度福井県民経済計算(福井県政策統計・情報課)



福井県の県内総生産*の動きを見てみよう。



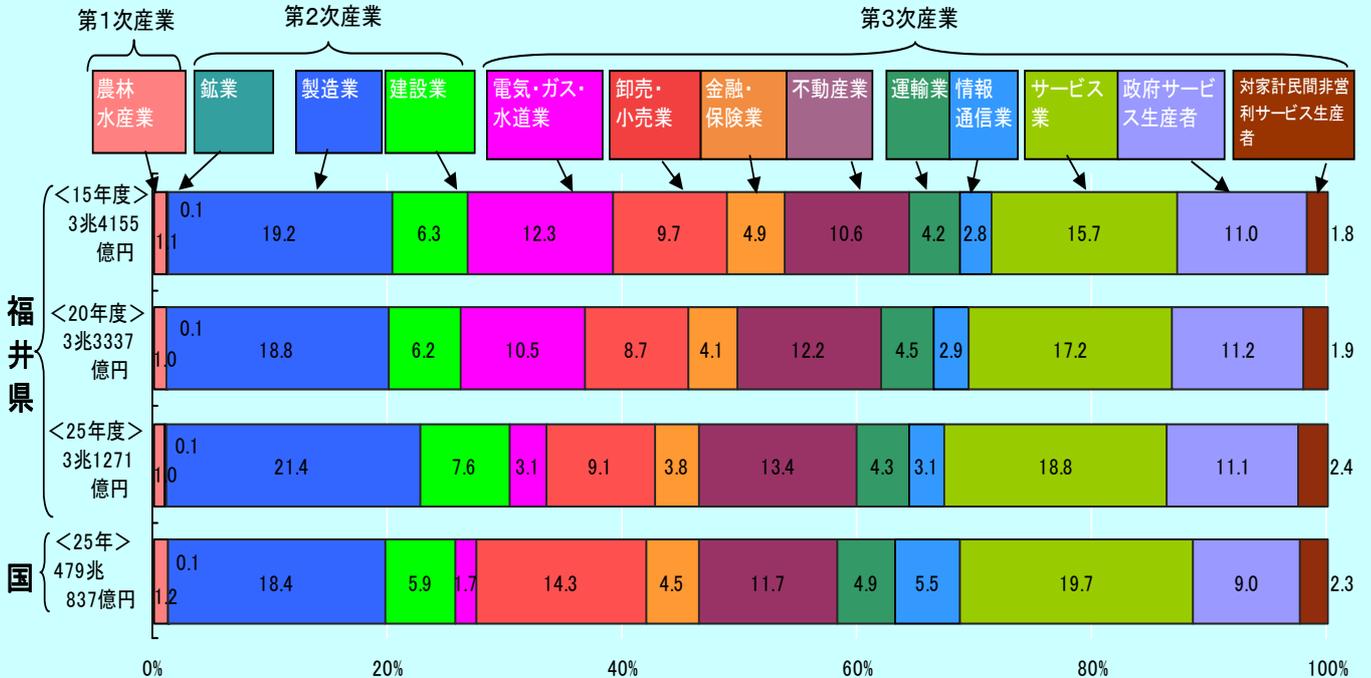
経済成長率(名目)は、どのように推移しているのかしら。

※県内総生産…県内の事業所で、1年間に生産されたものの価値(生産されたものから原材料などを差し引いたもの)を金額に換算したもの。

◎福井県の県内総生産



福井県の県内総生産の産業別構成比



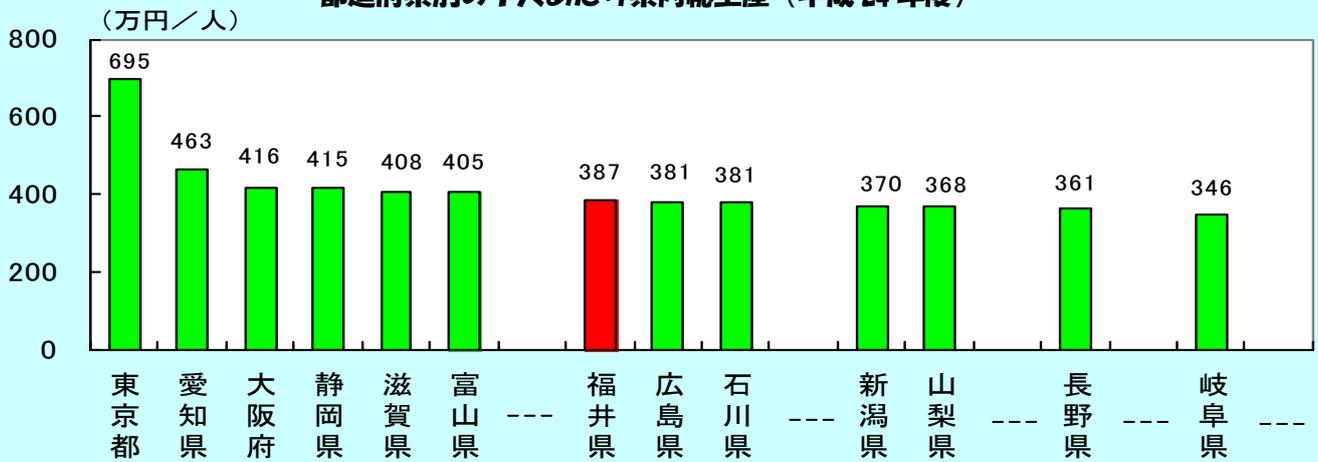
出典：平成 25 年度福井県民経済計算(福井県政策統計・情報課)



福井県の特徴が表れているのはどんなところかしら。10年前と比較してみると、どんなふうに変化しているかな。

◎県民1人あたり県内総生産

都道府県別の1人あたり県内総生産（平成24年度）



出典:平成24年度県民経済計算(内閣府)からの推計
総務省人口推計(平成24年10月1日現在)

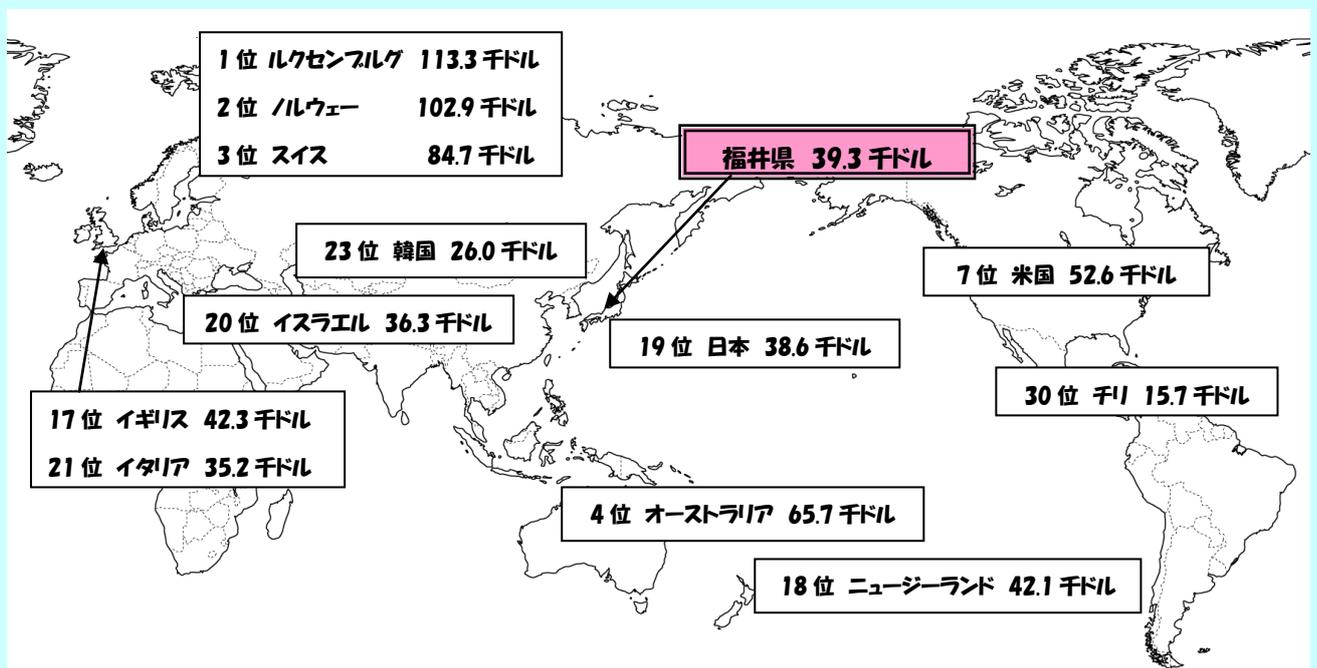


1人あたりの県内総生産を見ると、福井県は
全国でどのあたりの位置にあるかな。

<世界から見た福井県の位置(平成25年(度)一人あたり県(国)内総生産の比較)>

福井県の平成25年度1人あたり県内総生産(名目)をOECD諸国(「経済協力開発機構」、世界の先進国等34カ国が加盟)の1人あたり国内総生産と比較すると、福井県は39.3千ドルで、18位のニュージーランド(42.1千ドル)と19位の日本(38.6千ドル)の間に位置しています。

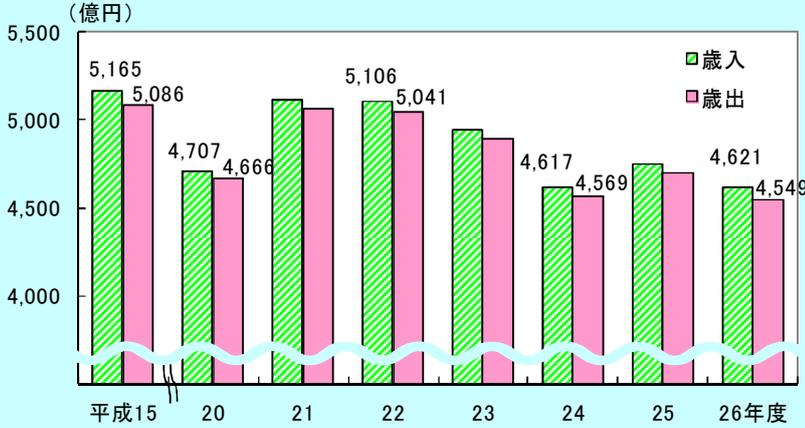
(各国は暦年、福井県は年度値。県の一人あたり県内総生産(ドル表示)は、1ドル=100.23円(25年度平均レート)で換算して推計)



出典:平成26年度国民経済計算確報(内閣府)、平成25年度福井県民経済計算(福井県政策統計・情報課)

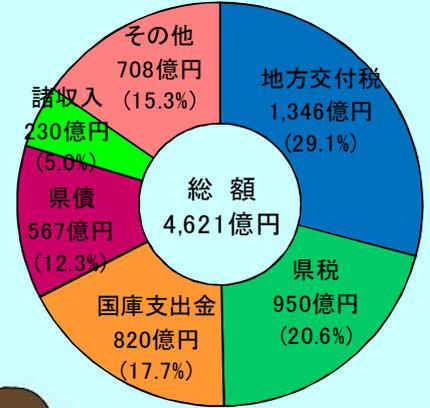
◎福井県の歳入・歳出決算額

福井県の歳入・歳出決算額の推移（一般会計）



出典：平成26年度福井県歳入歳出決算の概要（福井県会計課）

福井県の歳入の内訳（平成26年度）



県の決算額は、10年間で大きく動いているね。

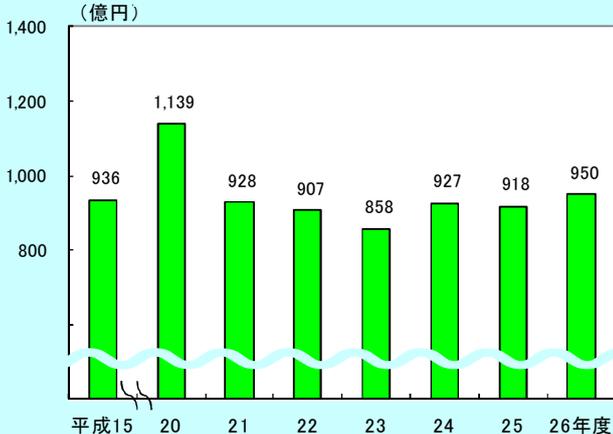
平成26年度決算額の内訳（歳出）（ ）は家計に置き換えた表現



県の予算は、わたしたちの生活にとっても深く関わっているよね。

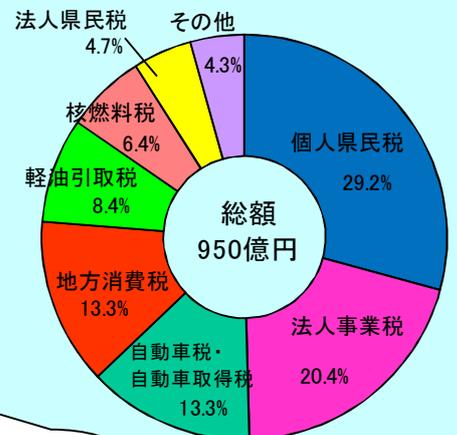
◎税金は大切な財源です。

福井県の県税収入額の推移



出典：平成26年度福井県歳入歳出決算の概要（福井県会計課）

福井県の県税収入額の内訳（平成26年度）



県税が少なくなると、どんな影響が出てくるのかな。

「統計」ってなんだろう？

◎統計って何だろう？

人、物、出来事などの集団について調べたり、集めたりした数を集計・加工して、全体がよく分かるようにしたものを**統計**というよ。



例えば、

- ・「**テストのクラス平均点**」 クラス全員のテストの点数 → 加工 → クラスの平均点
- ・「**平成〇年雪日数**」 平成〇年に雪などが観測された日の数 → 集計 → 雪日数
- ・「**アンケート結果**」 集めたアンケート → 集計 → アンケート結果

◎数を表にすれば「統計表」、グラフにすれば「統計グラフ」のできあがり

勉強時間（福井県内の公立学校（平日））

（単位：％）

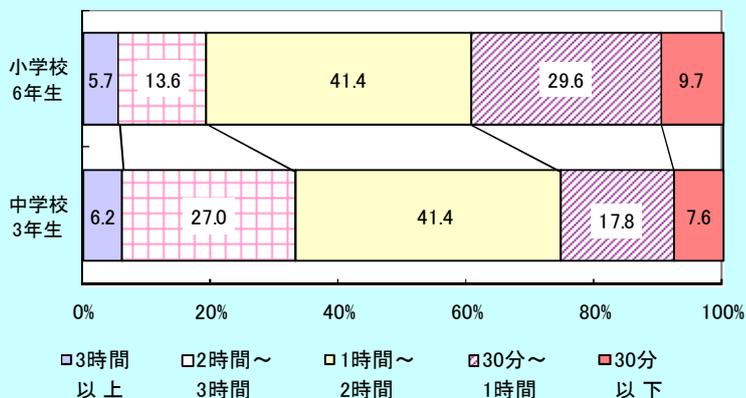
	3時間以上	2時間～3時間	1時間～2時間	30分～1時間	30分以下
小学校6年生	5.7	13.6	41.4	29.6	9.7
中学校3年生	6.2	27.0	41.4	17.8	7.6

← 「統計表」



「統計グラフ」

勉強時間（福井県内の公立学校（平日））



表にすると、どんないいところがあるのかな。
グラフで表すと、どんなことがわかるようになるのかな。



出典：平成27年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）

◎統計から事実がみえるから、いろいろなところで利用されているよ。



国では、税金や健康保険、雇用保険の額を決める際の参考として利用しているよ。



家庭では、家計簿をつけて、お金がかかっているところを見直したりするのに使っているわ。



会社では、客の好みを把握するための市場調査や、工場での品質管理に利用しているよ。



統計グラフにはいろいろな種類があるよ！

◎ グラフには、①棒グラフ、②折れ線グラフ、③円グラフ、④帯グラフ、⑤絵グラフなどがあります。



グラフを作るときには、「何を比べるのか」、「何を伝えたいか」などを考えて、目的にあった統計グラフを使ってね。

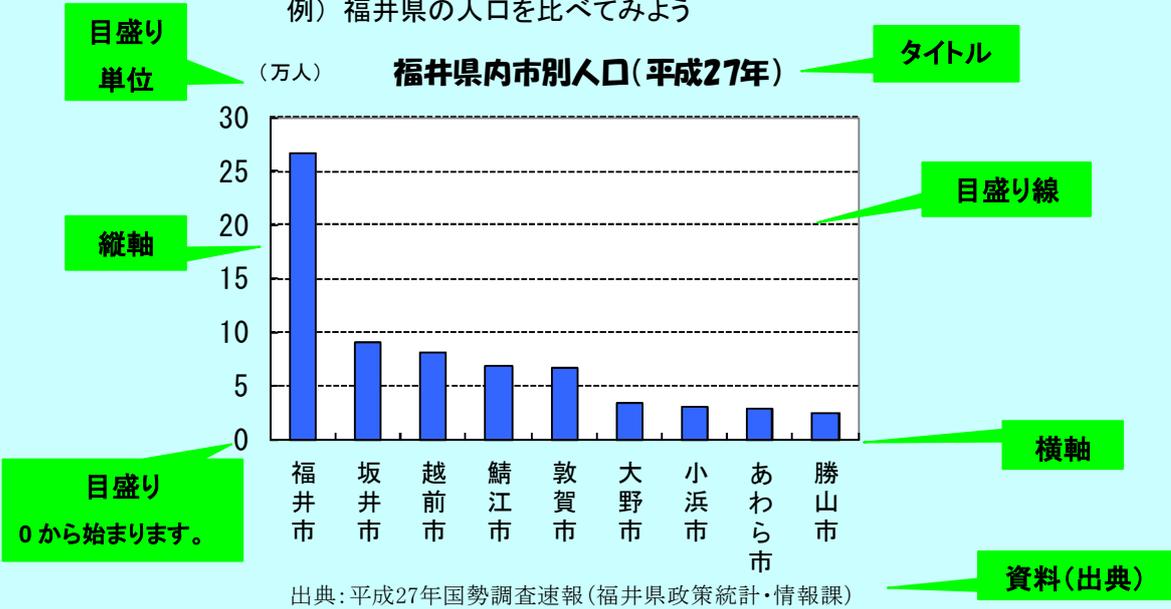
グラフを作るときは、
①グラフのタイトル
②目盛り、単位
③使った資料(出典)を
忘れずに書こう。



① 棒グラフ

数量の差や大きさなどを表します

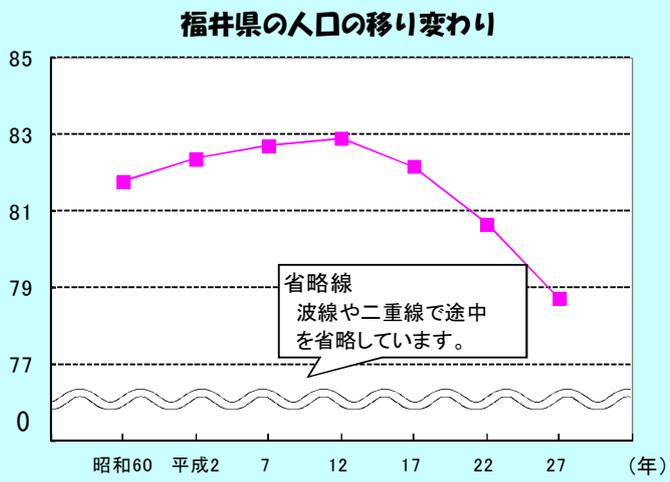
例) 福井県の人口を比べてみよう



② 折れ線グラフ

時間の移り変わりによる変化を表します

例) 福井県の人口の変化を見てみよう



③ 円グラフ

全体の中でどれくらいあるかを表します

例) どのような収入がどの程度あるか、見てみよう

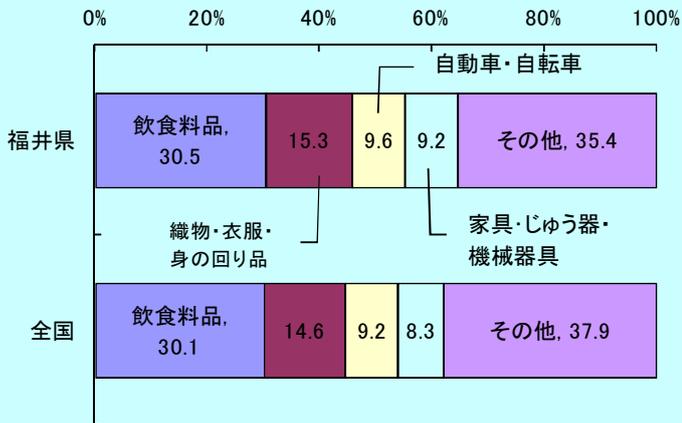


④ 帯グラフ

全体の中でどれくらいあるかを時間や分類で比べます。

例) 福井県と全国の小売業の事業所の割合を見てみよう

小売業の事業所数の割合 (平成26年)



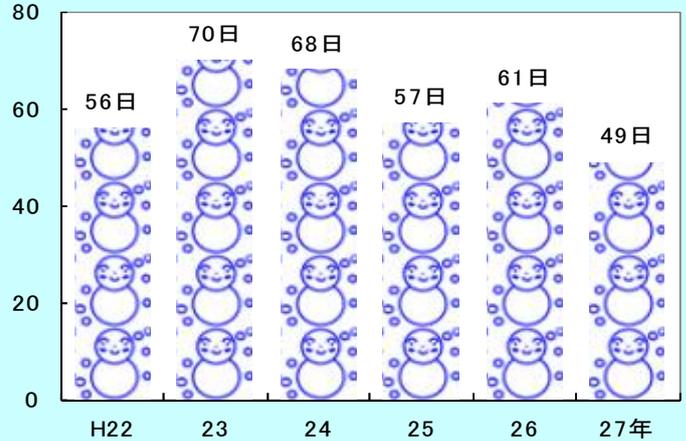
出典:平成26年経済センサス-基礎調査(総務省)

⑤ 絵グラフ

数量や大きさを絵を用いて表します

例) 雪だるま1つを15日としたグラフを見てみよう

(日) 年間雪日数(福井市)



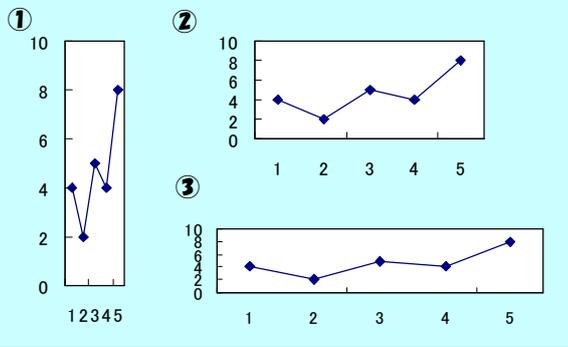
出典:気象統計情報(気象庁)

ポイント



とおるくん、けいこちゃん、
下の3つのグラフから気づくことはない？

縦長と横長の
グラフがあるよ。



数値の変化
が大きく見え
たり、緩やか
に見えたりす
るね。



3つとも同じデータのグラフなんだ
けど、見え方がだいぶ違うでしょう。
どこが違うのか考えてみてね。



同じデータでも、グラフの書き方によって印象が変わってしまうため、グラフを作るときは、グラフから受ける印象が適正かどうか、誤った印象を与えていないか注意をしないといけないよ。

また、グラフを見るときは、数値の差だけではなく、目盛りに気をつけることも大事だね。



総務省統計局のホームページには、楽しみながら統計を学べる統計学習サイトが掲載されているよ。

統計学習サイト

検索

<http://www.stat.go.jp/edu/index.htm>